



第25號

發行所 愛知縣額田郡幸田町中央公民館
印刷所 岡崎活版所

村から町へ

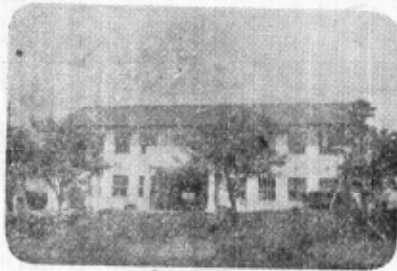
◎愛知県告示第九十三号
地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第八條の
規定に基き

額田郡幸田村を幸田町とし

昭和二十七年四月一日から施行する。
昭和二十七年三月二十日

愛知県知事 桑原幹根
（愛知県公報第三千九十一号）

右の通り、知多郡旭日町と
共に四月一日から町として発足
したので県下は十二市八十町百
二十五村となった。
尚町制施行祝賀記念式典は来
る十一日午前十一時から、町議
会議事堂で愛知県知事桑原幹根
殿を迎えて挙行する。



幸田町役場庁舎本館

◎町制施行にあたり

初代町長 本多伴吉

幸田町の皆さま
麗かな春風に十方根山脈は霞たなび
き、廳舎前の櫻花微笑む四月一日、
輝かしい講和発効を間近に迎えて
町制施行の喜びを共に願いますこと
は、私の最も欣快とするところで
ございます。

願ひますれば、半世紀前、誓つて
国難に殉じた若人の奉公に應えて、
銃後の老幼婦女が相より相扶けて刻
苦精勵、郷土の改善に専念した明治
三十九年五月一日、耕地整理の跡麗
しい坂崎、相見、深溝三ヶ村を併せ
て広田村が誕生してから、歴代村長
各位の涙ぐましい導きの下に、終始
額田の穀倉として食糧報國に全力を
献けて有終の美をおさめた。又一方
四十一年九月停車場設置に伴い「幸
田村」と改めてからは、特に工場誘
致や街路の擴充整美等に理解ある村
民の協力を得て、幸いその機まざる
努力が報いられ、各方面に非常な發
展を遂げましたので、茲に純情で真
面目な四十五年十一月の歴史榮あ
る幸田村に名残を告げ、獨立自主日
本復興進展の発足に当り、文化の花

開く新生幸田町として、伝統久しい
農民と、進取に富む商工者が、七対
三の比率で一円融合し良識ある町民
を培うべく教育第一を町是に、農畜

の多角經營と、富国順應の經濟進展
を企圖する傍、台所の改善、部落放
送等文化生活の水準向上と相俟つて
東海に誇る廳舎と中央公民館の威容
について、今度清楚な隔離病舎、模
範的な保育園、堅実な種畜管理所の
産業厚生施設を完成して更に本町文
化交流のセンター幸田町も電化に魅
けて年内に新装ならんとし、綜合運
動場、深溝郷の新設、広田川の改修
をも控えて、文化幸田の前途は実に
洋々たるものがあります。

然しながら尙幾多の問題が累積し
て参りますので、此の際二千二百戸
一万四千の手と手、心と心を相携え
地の利に人の和を合せて荆棘の道を
切り鑿き、ネオン目ばゆき新光のス
フ、東洋製紙のテープが、七つの海
路遙かに末広く椰子の葉蔭に薫るよ
う、至誠仁慈を織り交じえ、共存
共榮以て平和の鐘なり止まぬ世界文
化の理想郷「明朗幸田町」の顯現に
一層の決意と精進を要する時です。
お互いに自重自愛して勉め勵ま
しよう。及ばずながら陣頭に立つて
十二分の御奉公をさせて頂きますこ
とを誓つて御挨拶を結びます。



昭和27年度額田郡幸田町歳入歳出予算総計表

歳入			歳出		
科 目	予 算 額		科 目	予 算 額	
	本 年 度	前 年 度		本 年 度	前 年 度
1 町 税	40,533,007	23,180,813	1 議 会 費	567,300	498,700
2 平 衡 交 付 金	1	1	2 役 場 費	5,580,550	4,139,174
3 公 營 企 業 及 び 財 産 収 入	11,649	1,122,131	3 消 防 々 犯 費	1,533,256	1,347,595
4 使 用 料 及 び 手 数 料	96,802	54,601	4 土 木 費	3,639,702	1,205,204
5 国 庫 支 出 金	1,129,494	3,504,543	5 教 育 費	8,435,390	11,921,490
6 県 支 出 金	745,303	1,906,823	6 社 会 及 び 労 働 施 設 費	1,652,059	4,627,144
7 寄 附 金	426,658	1,172,403	7 保 健 衛 生 費	4,367,690	1,635,950
8 繰 入 金	22,995	2	8 産 業 経 済 費	5,419,063	4,800,251
9 繰 越 金	369,085	621,344	9 財 産 費	208,807	181,640
10 雑 収 入	465,761	437,339	10 統 計 費	54,100	29,000
計	43,800,755	32,000,000	11 選 挙 費	110,260	161,130
			12 公 債 費	60,002	145,561
			13 諸 支 出 金	11,972,576	1,170,977
			14 予 備 費	200,060	56,182
			計	43,800,755	32,000,000

よりよき社会をつくるため、
権利と義務をいかしましょう。

昭和二十七年歳入歳出予算編成方針

昭和二十七年歳入歳出予算編成については、村内輿論と時代の趨勢等に鑑み、尙国の予算編成の根本方針にもありますよう、收支の均衡と住民の税負担の調整軽減等を考究して健全財政を根本に編成したのであります。行政的経費については緊縮節減を図り、生産的建設的の経費に重点を置き、彼我勘案して計上しました。小職就任の際申し上げたと記憶しておりませんが、農民生活の合理的改善、所謂文化村建設を目標に既定方針を踏襲して計上したのでございます。

昭和二十六年度においては、税負担を軽減条例の設定によつて施行して参りましたが本年度は最初申し述べました輿論と時代の要望に應えまして税は標準課税を致しますが、負担の均衡等を考慮致しまして、町民税の税率を軽減したいと思ひます。

本年度予算総額は、四千三百八十七万五千五百円で、昨年度当初予算三千二百万円に比して一・四倍近い増額であります。二月末予算八千五百九十三万七千八百七十九円に對しましては九割六分強の減少であります。

本年度新規事業は文化建設におき幸田町の玄関幸田聯合の改築負担金深溝新設費本年度分負担金並びに

講和記念町制施行、保育所開設費等で、その他は昨年度よりの継続事業の完結整備、給與改訂の自然増等であり、歳出における比率の概要を申し述べれば、議会費一・三%、役場費一・二%、七%、消防々犯費三・五%、土木費八・四%、教育費一九・二%、社会労働費三・八%、保健衛生費九・九%、産業経済費一・二%、四%、財産費〇・五%、統計費〇・一%、選挙費〇・三%、公債費〇・五%、諸支出金二七・三%、予備費〇・四%であります。以上に伴います処の税収入は、町税九二・五%、使用料〇・二%、国庫支出金二・四%、県支出金一・七%、寄附金〇・九%、繰入金〇・五%、繰越金〇・八%、雑収入一・〇%であります。(町長本多)

じつと

こらえよ三分間

かつ！としても
こが辛抱三分間
癪だ！と思つても
こが大切三分間
やけくそだ！と思つた奴那
苦しい！と思つても
考えなおせ三分間
何くそ意地だ三分間
気が利かん！じりじりする
そこだこらえよ三分間
面倒だ！でも、
今一息だ三分間



昭和二十七年年度の町税は どのくらい徴収されるか

税務 清水

一、徴税額

昭和二十七年年度の幸田町予算は去る三月二十五日より三日間に亘つて議会が開かれ慎重審議を重ねられた結果可決となりました四千三百八十余万円の大きな予算でありまして而も全歳入の九割二分に当る四千五百三万余円が租税収入によつて賄われる極めて健全財政でありましてそれだけに町民の負担も重いのであります。幸田町に於ては、新光レイヨン株式会社幸田工場を始め東洋製糖株式会社其の他十数会社工場の法人税制、及び固定資産税の税額が三千五十余万円(七割五分強)を占めてゐるから町民個人にすれば壹千余万円でありまして人口一万三千六百人として一人当り七百余円となるので他の市町村と比較して見るとき決して過重ではないと思ひます。

二、賦課率は

(イ) 町民税 法人税 法人税額の百分の十五、(税法改正の場合には改正標準率とする)

(ロ) 町民税 個人割 所得税額の百

分の十

(ハ) 町民税 均等割

法人 一、二〇〇円
個人 二〇〇円

(ニ) 固定資産税 (土地、家屋、償却資産) 評価額の百分の一、六

(ホ) 諸車税

自転車 一台 二〇〇円
荷車及リヤカー 一台 二〇〇円
荷積牛馬車 営業用 八〇〇円
農専用 四〇〇円

(但幸田中学校へ通学用の自転車は区域を限定して免税とする)

三、各納期は(税の徴収月)

四月 固定資産税 一期分
五月 諸車税 一期分
六月 町民税 二期分
七月 固定資産税 二期分
八月 町民税 二期分
十月 町民税 三期分
十二月 固定資産税 三期分
一月 町民税 三期分
二月 固定資産税 四期分

四、完納について

以上申し上げましたように租税収入によつてゐるの、事業も行われてゆくのであります。税金の未納のあ

るだけ町の緊急事業が停滞することになりますので町を愛し町の発展、町民の福祉増進の爲にも納税の完納をお願いいたします。以上

蠶業四月の話題

繭糸価安定法が実施せられる事になつた。生産費を償う価格で繭が売れると決まれば、生産費減の途は桑葉の多収穫と蠶作安定にあるのみ茲に技術の舞台がある。

寒暖計の話

福島県岩代国伊達郡に天保の頃養蠶に寒暖計を使用することを実験上確認して、蠶当計と名付け普及に努めた人がある。

それは中村善右衛門です。彼は長崎から一本の寒暖計を取り寄せて実際に試験し、蠶室の温度を知るに必要であり、蠶の養殖に大切な利器であることを認め、当時の代価は一本が金十五兩で、長崎から買入れるには百日以上もかかり、一般に普及させることは到底望めないもので、遂に自身に水銀寒暖計を製作することを決意した。時には天保十一年(一八四〇年)のことである。

蠶兒一、二令の飼育温度は八十度三令七十五度を理想とする。皆さん正確な寒暖計を選びましょう。

消毒の話

春蠶掃立前入念に蠶室蠶具を洗濯消毒することが軟化病や膿病の予防に最も効果ある措置です。昨年の晩秋蠶期にウミ蠶や軟化病の発生を見た方は是非洗濯して下さい。そして洗濯後消毒して下さい。

蠶室の消毒は昇末の二百倍液(昇末二四匁を水一斗に溶かし之に食塩二四匁加用)を使います。蠶室が完全に密閉出来るならばホルマリン三十倍液もよいものです。何れにせよ技術員の指導を受けて部落毎に日を定めて一齊に実施せられる事が経済的であり、且効果的です。

ごあいさつ

愛知食糧事務所額田支所
幸田出張所 所長
小林 吾一

今度金沢氏の御榮転に際し、私其の後を繼いで勤めさせて頂くことになりました。誠に淺学無能の者でございまして、名検査官の後を受けて其の大任を果し得るか否かと心配する次第ですが、幸い各位の御支援にすがり大いに勉強し、皆様方の御期待に添うべく懸命に努力いたします。何卒いたらない者ではございませぬが、各位の御指導御鞭撻の程を切にお願ひ致します。一々参上御拜眉の上御挨拶申し上げるのが本意でございますが、略儀ながら広報の一端をかりて御挨拶申し上げます。

学校だより

◎本年度学級編成表

一、坂崎小学校 ○印新任

学年学級	児童数		担任
	男	女	
一	一六	二七	杉浦多美子
二	二七	三三	○鈴木健三
三	二八	三三	○鈴木健三
四	四九	三七	石川 太一
五	四四	三三	○鈴木健三
六	三三	三七	○鈴木健三
計	二一三	二五五	長尾治郎吉 中山宗平

二、幸田小学校

学年学級	児童数		担任
	男	女	
一	二二	二二	永井 祐吉
二	二二	二二	○鈴木健三
三	二二	二二	○鈴木健三
四	二二	二二	○鈴木健三
五	二二	二二	○鈴木健三
六	二二	二二	○鈴木健三
計	一三〇	一三〇	○鈴木健三

三、荻谷小学校

学年学級	児童数		担任
	男	女	
一	二二	二二	安藤よし子
二	二二	二二	藤田 佳子
三	二二	二二	飯田 余信
四	二二	二二	徳村 昭子
五	二二	二二	唐沢 重光
六	二二	二二	○石川すゑ
計	一三〇	一三〇	○細田泥明

四、深溝小学校

学年学級	児童数		担任
	男	女	
一	二二	二二	岩瀬 龍輔
二	二二	二二	○鈴木健三
三	二二	二二	○鈴木健三
四	二二	二二	○鈴木健三
五	二二	二二	○鈴木健三
六	二二	二二	○鈴木健三
計	一三〇	一三〇	○鈴木健三

五、幸田中学校

計	七〇〇
男	三三〇
女	三七〇
担任	長尾治郎吉 内田三之助

学年学級	生徒数		担任
	男	女	
一	二二	二二	杉浦 広宜
二	二二	二二	○鈴木健三
三	二二	二二	○鈴木健三
四	二二	二二	○鈴木健三
五	二二	二二	○鈴木健三
六	二二	二二	○鈴木健三
計	一三〇	一三〇	○鈴木健三

卒業生動向 幸田中学校

進学	就職		家事従事		計
	男	女	男	女	
計	二〇	二〇	二二	二二	八四
27.2%	三	三	五	五	一六
34.3%	三	三	二	二	一〇
37.5%	五	五	一五	一五	四〇

進学学校別

私立	〇
国立	一
市立	一
町立	一
村立	一
計	四

新日本こどものうた

一、花から花え とびのは蝶よ
心と心を 結ぶはうたよ
新しいの 日本朝の
のびるこども 元気なこども
楽しく明るく 歌つて進もう。
空には平和の 白鳩小鳩
町には仲よく のびゆく我等
朗かな かわいいうたに

二、育つこども 元気なこども
楽しく 明るく歌つて進もう。
やさしい心を 誘うはうたよ
元気なこども 日本朝の
われらのこども 元気なこども
楽しく明るく 歌つて進もう。

これからまちがえずに



郷土史料 (その二十三) 人物伝四 志賀又郎

平岩親吉

本姓は弓削氏久保田村の産なり。その祖平人正氏貞久保田に移住す。館の傍に一巨岩あり、平にして座すべく亦表に二個の目あり。郷人氏貞を平岩殿と呼ぶ因りて平岩と改む。氏貞の子筑後守泰元、其の子左京進光吉、其の子五郎左衛門了玄、其の子新左衛門親重、其の子七之助親吉なり。

親吉家康と同年なり。家康駿河に参るや、旅伴の一人として常に座右に侍す。弘治二年春家康の初陣に従いしより常に軍に従い向う所破らずといふことなし。勇材武略を兼ね、其の心仁愛厚く寛厚の長者なりしかば、世子信康の傅となり、恒に家事執り行い、軍には御介副しけるが、信康、信長の嫌疑を被り自刃の止むなきに至るや、親吉罪を已に歸して信康に代らん事を乞ふも許されず。信康滅後快々として樂まず、郷に閉居せしが、再び家康の徵に應じ、武田氏滅亡の後、甲斐國の目代に任せられ、後上野厩橋城三万石を賜う。

慶長八年徳川義直甲斐に封ぜらる、や、親吉また之れに従い、府中の地六万石を領す。十年義直尾張に移るや、親吉其の准父として倍従し、采地十萬石を領し大山城に入る。名古屋城造営の大命下るや、親吉日々清洲より出向し、慰勞監督怠らず、城成るや移りて二の丸に居し、国政を執ること旧の如し。慶長十六年十二月晦日城中に卒す。年七十。親吉子なく嘗て公子仙千代を賜いて養うも、その天死に遇い、猶亦義直の准父の故を以て敢て嗣を立てず、遺言して家臣及び領土を義直に附屬せしむ。依りて其の家絶ゆ。

幸田町の戸口 (27年4月1日現在)

Table with columns: 支所名, 戸数, 男, 女, 計. Rows include various districts like 長久保, 大高, 新市, etc.

国旗を掲げましょう!

待望の講和批准、晴れの国際参加町制施行を記念して、祝日には必ず全町一戸に残らず国旗を掲げて、新生日本建設の誓いを固めましょう。四月十一日 町制施行記念祝賀式。四月二十九日 天皇誕生日。五月三日 憲法記念日。五月五日 こどもの日。こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかると共に、母に感謝する。

△幸田町の位置 砂棲生 (経度度)

一、幸田町の四極 本町は、東経一三七度九分四秒、即ち大字菱池字土井一〇四番地(田)の西端に起り、東経一三七度一三分一秒、即ち大字大草字鷺ヶ入(山)の東端に盡き、南は北緯三四度四分四二秒、即ち大字深溝字小原二番地の一(山)の南端に始まり、北緯三四度五四分二一秒、即ち大字坂崎字雀ヶ塚一三番地(山)の極北に終る。

二、長点

東西の長点、五、四六杆(一里十町三間)北緯三四度五二分三十秒即ち菱池字土井より幸田小学校庭、大井池を横ぎり鷺ヶ塚(二一六、三米)頂上を過ぎる線

南北の長点

九、五六杆(二里十六町三、五間)東経一三七度一一分三〇秒、即ち京ヶ塚(一七〇、八米)頂上より長峯久保田郷中を貫き大草荻の山麓、苜谷深溝の山中を過ぎ、海谷区内矢崎踏切西方にて東海道線を横ぎり字大師山物石の山麓を過ぎる線。

三、幸田町役場位置

東経一三七度一〇分一八秒 北緯三四度五一分四八秒 即ち大字菱池字黒方一一番地

第四回婦人週間実施について

名古屋法務局 人権擁護部

終戦後、日本民主化の大きな議題として婦人の解放がとりあげられ、憲法初め色々な法律や制度によつて男女の平等が保障されました。けれども新しい制度による婦人の地位の向上は、極めて短時間の間に、又占領下の特殊な条件のもとに行われたものであるために、未だ法制に対する婦人の理解や自覚は一般に充分でなく、ともすれば誤解や不消化に陥り易く、また婦人の能力も充分涵養され、活用されるに至つておりません。

日本の人口の半数以上を占める婦人の地位が、このようなものであることは、婦人自身の不幸であるばかりでなく、男子にとつても亦不幸であり、また講和締結後の重大な時期に当つて、日本の民主的発展に対する不安を意味し、更に国際社会において、文化国家としての真価を疑われることにもなります。

ここに婦人自身の自覚を促し能力を開発し、社会的進出を促進して、よりよき社会の実現を図るために、「よりよき社会をつくるため、権利と義務をいかにしましょう。」のスロ

ーガンの下に、多彩な行事を致します。例えば、婦人少年局、愛知職員室、社会教育課と共催で、一、地方大会 二、働く婦人のための一日講習会 三、中村區熱田區等において婦人討論会等を開きます。

一宮法務局支局では、犬山町外一ヶ所、半田支局では常滑町、武豊町で岡崎支局は足助町、安城町等、豊橋支局は田原町、小坂井町、新城支局は東郷村外一ヶ所、婦人団体等の出席を得て、婦人に関する権利と義務とをよりよくいかに如何にしたならば、との目的の下に、活発な意見の交換を遂げる予定です。尚この婦人週間は、皆様御承知と申しますが、昭和二十一年四月婦人が始めて参政権を行使したのを記念し、毎年婦人のための運動を行っています。

公衆道徳について

松森 敏子

公衆道徳につきまして一言私の抱負を述べさせて頂きます。公衆道徳と申しましても随分範囲が広がっています。先ず私達の身近な処から

その例を取り上げて見ますと、学藝会や運動会、映寫会の済みました後の光榮を思い出させます。其の亂雑さを目をそむけさせられます。如何に敗戦國民とはいへ誠に恥い次第と存じます。私共一人一人がお互いに気をつけあつたならばあのような見にくい有様は見られないで済む事でしょう。

公衆道徳は先づ個人から！個人の盛り上る力によらなければ、強要されたものであつては決して永続するものではないと思ひます。こんな事はいい安く実行し難い事でございます。私自身努力して、なが、中々出来ない事を嘆いて、しかし一人でも努力し実践して頂けたならば自然其の感化により「息らず行けば千里の果も見ん牛の歩みのよし遅くとも」という歌のように何時かは全体が良くなる事と固く信じています。

今日明日といわず、今から皆様と御一緒に公衆道徳否個人道徳を完成して行こうではありませんか。そうすることによつて、新興幸田町を明るく住みよい町に私共の婦人の力で創り上げようではありませんか。皆さまの御賛同御協力をお願いし

て筆を擱きます。

幸田町立保育園児募集要領

一、保育の目的

児童福祉法立法の精神に基き、幼児の心身の健全な育成を図ると共にその家庭の労働の能率増進に努め、且幼児を通して家庭生活の向上を図るを目的とする。

二、入園資格

町内居住の満二才より就学の始期に達するまでの幼児。

三、入園手続

入園希望の保護者は、入園申込書を町長宛提出すること。

四、開設予定 四月三日

五、保育課程

左記各項を組合せ、児童福祉施設最低基準に基いて別に定める。

イ、音楽リズム、繪画、お話、自然観察、社会観察、集団遊び等

ロ、健康診断健康状態の観察と個人検査

ハ、給食並びにオヤツの支給

ニ、其の他必要な保育

六、保育料

金参百五十拾円一ヶ月一人分

但し保育料の一部又は全額を納付することができないものに対しては減免する。

七、取合せ

幸田町役場内総務課へ

養修

長寿を保つには

都築与逸

私は去る日目の人におあいした時、親切なお話を色々伺いました。その聞かせて頂いた心持を一言申し述べます。

その方の仰られるには、自分の生まれ故郷は昔から結婚には近親関係の縁談は除けて他から優良な人を選び、新郎新婦一生一度のおめでたい婚礼の式典も簡素にし、夫婦睦まじく、家内田満朗かな生活を営み、其れと同時に何れの宗教を論ぜず信仰を強く求めた日暮しを、ずつと今日まで子々孫々守つてゐるから、八十歳以上の長壽者が大勢楽しく生き永らえてゐるに反し、隣村は、一向無関心に暮してゐるのを対照して見ると、隣村はうんと死亡率が高いのに我が故郷は非常に低い。貴方も良くよく味つて見なさい。と親切に教えられましたので、町民の皆様にも是非味わつて頂きたいと存じまして私の気持をかきました。



人口動態 (27年2月分)

	累計	54	{30 24}
出生	25	{12 13}	
死亡	19	{11 8}	
死産	0	0	
婚姻	16	27	
離婚	1	1	

増産百語

老子や釋迦の道は高尚である例えば日光や箱根等の山岳が峨峨として聳えてゐるようなものだ雲や水の愛すべく、風景の乗むべきものはあるが、人民の役には余り立たない。一方我が道は、平地村落のようなもので野鄙に見え、風景の愛すべきものはなく、雲や水の乗むべきものはないけれども百穀が湧き出てくる。国家の富源は誠に茲にあ

道は近きにある

るのである。徳の高い僧侶の清浄なのは、例えば浜の真砂の如くだが、蓮の花は浜の真砂には生じないで汚泥の中に生ずる。大名の城の立派なもの、市中の繁華なもの、その財源は村落にある。之を以て之を見れば、至道実徳は卑近にあつて、高遠にはなく、卑近が決して卑近でない道理を悟るべきである。(二宮尊徳翁の言葉)

緑の週間

森林組合

緑の美しい平和の町を建設するために、町民の皆さま植樹いたしましたよう。
 第一日(火) 家庭緑の日
 第二日(水) 職場緑の日
 第三日(木) 街の緑の日
 第四日(金) 山の緑の日
 第五日(土) 交通緑の日
 第六日(日) 学校緑の日
 第七日(月) 緑愛育の日

WHOデーの由来

WHOが、WHO憲章に基づいて正式に設立された日、即ち1948年(昭和23年)4月7日を永く記念するため毎年4月7日を、WHOデー(世界保健デー)と定め種々な行事や運動が行われています。今年には第4回のWHOデーに当たります。

婦人週間

日本の婦人が、初めて国会議員を選挙したのは、昭和二十一年四月十日です。その選挙を通して、婦人も男子と共に政治に参加できることになりました。その四月十日から一週間を婦人週間として、婦人の地位を本当に高める運動を、労働省で二十



食前に手を洗う習慣

四年から行い初め、今年には第四年目です。

四月は、毎年清掃週間に年中行事の一つとして施行せられる。日常生活において何か一つ清潔を重んずるような習慣を身につければ、それがひいて万事の清潔に気をつけるようになる。例えば爪は必ず短かく切つておく習慣をつけると、少し爪がのびても苦くなる。尻や爪の間へ汚物の溜るなどは堪えられないことになる。
 食前には必ず手を洗うことを勵行すれば、手を洗わずには食事ができなくなる。ここまで来れば、室の埃も苦になり、下着の垢も苦になるようになる。そこで生活全般が清潔になる。従つて不潔から来る病魔から免れることができる。高遠な理想はとにかく、身近な日常の些事から衛生習慣をつけたい。
 これは今日からでも始めたいのだが、人間は何かのきっかけがないと着手し難いものだから、是非とも四月十六日からの清掃週間から始めることにしましょう。
 さあ、爪を短かく切ること。と食前には必ず手を洗うこと。を先ず実行して下さい。

SUMIKO



分館だより 文化の下萌

指定分館の運営発表と評価
研究会の会 (大草分館)

お彼岸もま近い三月十六日、麗らかな午後、霞たなびく大草山がまどかに相見野の麥畑に楳引くところ、月星山正楽寺(大草分館)は本堂もお座敷も大へんな賑いでありました。視察研究を目的の村公民館及分館関係の役員の方々をはじめ、展示物の観覧や弁論会をきくに来た人々、特に少年少女の皆さんはレクリエーションの舞踊や獨唱をたのしみに先づ村公民館当局の挨拶に始まり足立分館長の運営方針の説明、弁論会、レクリエーションと進み評価と研究会はお座敷で行われました。平素修練精古されるところを整然と美し、展示されて本堂も廊下もお座敷も ばいでありました。しかし当分館の特色の一つとして運営上重点の置かわれている図書閲覧の成果は、表現を弁論会の形を採つて行事の内に編みこまれていました。弁論会には青年のみならず、婦人會からも進んで壇上に立つていただきました。

かくて、展示物やお話などを通じて、分館活動の断面を見るとき、大草高力兩部落の文化の下萌が、この分館によつて培われつつあることが確とうかがわれたのであります。下萌や土の翠目の物の色 太紙 下萌ゆと思ひそめたる一と日かな たかし

○弁論会順序

- 一、至道は一つ 足立 昭
 - 二、農村の生活を省みて和田ひろ子
 - 三、幼児教育 三浦 はる
 - 四、公民館活動について磯部 光雄
 - 五、世の遷り変わる相 高橋 志げ
 - 六、新農村建設の端緒 小川 久之
 - 七、農業の機械化 羽根淵常重
- レクリエーション・プログラム
- 1. 舞 踊 小学一年生四名
 - 2. 獨 唱 高橋 幸子
 - 3. 舞 踊 榎原久美子
 - 4. 全 山本紀子、大須賀弘子
 - 5. 獨 唱 渡辺 彰子
 - 6. 舞 踊 山本かずゑ、渡辺きみ子
 - 7. 獨奏(アツコーデオンの)
- 展示種目点数
- 一、生花 四一 一、書道 七〇
 - 一、図画三〇〇 一、手藝 三〇
 - 一、短歌 八〇 一、俳句一一〇
 - 一、スケッチブック 一
 - 一、寫真 三 (以上)

俳句 とぼね句会報

荻 分館
見玉 幸白

伊豆大島二句
大島や椿咲く岸千鳥飛ぶ
寒林の影や車中を走り去る
麥踏や山懐に抱かれて

稲吉 青峰
風邪熱に今朝の味噌汁ほろにがし
厨事終へて夜なべの毛糸編む
薪を割る音や大地の返返る

平松 千秀
弾外に南天の実をこぼしけり
猫歩み去つてそこに暮の音光る
苔曼陀羅の御堂寒林に吹かれ立つ

神田 宗風
レコード掛け春のバジヤマを敷ちい
たり
動物園の檻静かなり月昇る
月ゆるゝ水面の風のあたゝかく

草次 武夫
猫さがる壁をまじき霜夜かな
猫火鉢かゝえて老の日向ぼこ
早春のまだ裏山に残る雪

内藤 待月
長話隔てて垣や落の苔
春寒や鏡の前の無精髻
強東風の煽りし破れ障子かな

小林 隆
一二輪咲きたる梅の白さかな
漣つばに長短ありて氷柱垂れ



ゆく雲

橋本 花枝

浅春や細手に佇てば風寒し 平松 荻雨
せんだんの幹の林立墓地も枯れ
春寒や纏物籠の毛糸黄
する墨の凍るといふは真かや

杉浦 壽山
かじかみし手でこま廻す風の子や
風の子等枯芦分けて何探す

内藤 待月
冬至来て邪魔がられ来し南瓜食う
窓あけて子等ははしやぎぬ軒氷柱

大竹 美黛
北風をつく自転車にマスクして
頬被り解き久瀧の辭にしばし

足立 竹友
早梅の窓に運座の茶話少し
伊吹から雲の走りに雪模様

坂部 蒼生
雪帽子ばさりとはねて実南天

川口風美子
子の音痴冬西さす開墾地
凧を貼る竹伐り子等が歸りせく

堀元 一步
泣き崩れ涙の頬に極月照る

子等描く寒林へペタル踏み入りぬ
嘘する女の顔の虚飾なき

川柳 祝町制施行

書きなれし一字誤る二三日(笑一)
案山子にも衣裳田舎でも町(村子)